

1. 2015年度報告

(1) 新教育体制の検討

①新カリキュラム

新カリキュラムについて、その教育内容をより一層建築デザイン・芸術表現中心へと大胆にシフトすることのほか、インテリアデザイン、インダストリアルデザイン、グラフィックなどの視覚芸術領域やリノベーション、コンバージョンなど時代のニーズに合わせた新領域への教育内容の拡充、および総合的なデザインマネジメント能力を備えた人材育成などを主なテーマとして検討を進めることとした。

②大学院進学予備プログラム

芸術学校から大学院への進学希望者を支援するための「大学院進学予備プログラム」について、大学院入試に対応したポートフォリオの作成指導などを主な内容とすることとした。また、この大学院進学予備プログラムを芸術学校における大学院進学支援体制の中核と位置付け、上記①新カリキュラムとともに高度建築家養成機関実現に向けた新たな教育システム計画「スペシャル・マスターコース」のテーマとして取り組むこととした。

③他学術院との教育連携

他学術院との連携について、建築やデザイン・芸術表現に関する科目を設置している文系学部等との連携を想定し、その連携内容や連携方法について引き続き検討を進めた。

(2) 新教育体制実現のための教員人事計画検討・立案

①教員人事計画の検討

「Waseda Vision 150 実現のための教員増を伴う学術院等将来計画の支援策」に対する申請において、新カリキュラムへの移行や大学院進学予備プログラム新設等を実現するための教員体制として、定年退職や任期満了に伴う後任人事および教員増も含めた人事計画を新たな教育システム計画の一環として立案、提示した。

②若手教員による教育内容の刷新

2015年度に若手建築家1名を准教授として新規に嘱任するとともに、有力な若手建築家数名を新たに非常勤講師として招聘し教育内容の刷新と強化を実現した。

(3) 広報体制の見直し

芸術学校の知名度アップのため、社会で活躍する本校卒業生によるポートフォリオを題材とした学校案内別冊を新たに発行するとともに、Webによる広報のさらなる充実を目指し、本校ホームページのリニューアルや学校案内のデジタルパンフレットによる配付を開始した。

2. 2016年度計画

(1) 新教育システム計画「スペシャル・マスターコース」の推進

①芸術学校・大学院一貫教育体制の充実

芸術学校から大学院（大学院創造理工学研究科建築学専攻あるいは海外を含めた他大学大学院）への進学希望者を支援するための「大学院進学予備プログラム」について、その具体的内容の検討を引き続き進め、詳細計画を取りまとめる。

②新カリキュラムの検討

建築デザイン、芸術表現中心の新カリキュラムについて、その具体的内容の検討を引き続き進め、設置科目や想定する担当教員、履修ルールなど詳細計画を取りまとめる。

③教員人事計画

「Waseda Vision 150 実現のための教員増を伴う学術院等将来計画の支援策」に対する計画書において提案した教員人事計画について、教務部等関連箇所とも相談しながら実現に向けた調整、手続きを進める。

④他学部等との連携

他学術院との連携について、具体的な連携先、連携内容および連携方法について引き続き検討を進め、可能なところから実現に向けた準備に着手する。

(2) 広報活動の見直し

従来からの取り組みに加え、より Web 媒体に重点を置いた広報活動を展開する。また、学内他キャンパスあるいは学外における学校説明会等の実施について検討を進める。

併せて、より充実した広報活動やイベントを展開するために、その資金を企業（大手ゼネコン、設計事務所等）からの寄附に求めていく。

(3) 学校運営・指導体制の見直し

退職や任期満了による専任教員や任期付教員の入れ替わりに備え、今後の学校運営や学生指導体制のあり方について検討を開始する。

以 上